



# 白土汗学

令和元年度

青山中学校だより 冬休み直前号

令和元年12月23日

じ しゅ かん がく

## 充実の2学期でした

平成から令和へと時代が変わった今年も残すところあとわずかとなりました。期間が長く行事も多い2学期でしたが、青中生のがんばりで、実りの多い学期にすることができました。保護者、地域の皆様には様々な場面でご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和初の新年を迎える来年も何卒よろしくお願いいいたします。よい年をお迎えください。

### 各学年代表の「2学期を振り返って」

#### 2学期を振り返って

#### 1年代表 鈴木 麻衣子

2学期を振り返ってみると、私たち1年生にとって、初めての大きなイベントが2つありました。

まずは、野外活動です。中学校生活の中で初めて、寝食を共にする学校行事であったため、ワクワクドキドキする気持ち、不安な気持ちの中、スタートしました。1年生全体で「5つの炎で最高キャンプ～皆で作る思い出のアルバム～」というスローガンを掲げ、大切にしながら、事前の準備や当日の行事、生活に全力で取り組みました。その中でも、1日目の夜に行ったキャンプファイヤーでは、夏休みからクラスでスタンプを考え、光の舞は、何度も練習を重ね、準備をしてきました。そのおかげで、当日は、大自然の中で一生懸命に発表し、一つのものを創り上げたことで、大きな達成感や充実感を得ることができました。そして、発表クラスだけではなく、1年生全体で盛り上がることができ、団結力を高めることができました。また、2日目のウォークラリーでは、生活班の中ではもちろん、クラスの垣根を越えて、協力することができました。長い時間、山道を歩くことは少し疲れましたが、生活班の仲間や学年の仲間とともに励まし合えたからこそ、感動のゴールを迎えることができました。野外活動を通して、たくさんの行事を充実したものにできたのは、事前に十分な準備をしたことと励まし合える仲間がいたからだ、身にしみて感じました。



次に、青山祭です。学級展示の準備では、計画したイメージ通りになるか不安な面がありましたが、持ち場が終わっても、完成していないグループを手伝うなど、助け合うことで、当日までに私たちらしい展示に仕上げることができました。2日目の合唱コンクールでは、1年生らしく、大きな声で練習してきた成果を発揮することができたと思います。合唱コンクールに向けての練習で、意見がバラバラになってしまったり、自分たちの課題を改善できなかったりと、心配な点がありました。しかし、練習を重ねるうちに、意見も徐々に合うようになってきて、歌声にも一体感を感じられるようになりました。初めての合唱コンクールで、どのように取り組めばよいか分からないこともありましたが、どのクラスも必死に練習に取り組む姿を見たり、廊下に聞こえてくる歌声を聞いたりすることで、負けたくない気持ちが強くなり、頑張ることができました。



2学期を過ごした中で、仲間がいること、そして、一人では、辛かったり難しかったりすることも、仲間と協力し助け合うことで、成し遂げられることがあるということを感じました。3学期は、3ヶ月弱という短い期間ですが、ともに頑張れる仲間がいることに感謝の気持ちをもち続けたいです。クラスはもちろんのこと、1年生全体としても、より団結力を高め、行事や日頃の勉学に取り組んでいきます。今までの経験・学びを生かし、最高の3学期にしましょう。

#### 2学期を振り返って

#### 2年代表 中根 陸渡

長かった2学期も今日で終わりを迎えようとしています。振り返ってみるとたくさんの出来事がありました。今年の流行語大賞は「ONE TEAM」になりましたが、ラグビー日本代表の身を挺してボールを前に運ぶ姿は、多くの国民に感動を与えました。彼らは、防具も着けずに頭からぶつかって痛



くないのでしょうか。自分より大きな体の相手に向かっていくことは怖くないのでしょうか。

さて、2年生のみなさんは、今学期はどんな事が印象に残っていますか。青山中学校最大の行事、青山祭でしょうか。授業や課題、定期テストなどの学習面でしょうか。それとも、マイチャレンジで見た友人の笑顔でしょうか。

思い出は人それぞれだと思いますが、僕にとって、2学期で大きく変わったこと、それは「部活動」です。夏休みから、僕達2年生は部活動の中で最高学年になりました。自分達が先輩方の築いてきた伝統を引き継ぐ時がきました。部員をまとめるにはどうしたらいいのか。下級生を引っ張っていくには何をすべきなのか。自問自答の日々が今でも続いています。

僕が所属している野球部は、秋の大会では入賞を果たすことができましたが、半田中学校とは、2回対戦して、どちらも大差で負けてしまいました。11月に出場した県大会でも、他地区の中学校とは大きな力の差がありました。バッティング技術の低さと守備面でのミスの多さ、集中力のなさを痛感しました。今は、基本に立ち返って、ランニングやキャッチボールなどの基礎練習を繰り返し行っています。この冬に基本の力を身につけておかないと、ライバル校への勝利はおろか、もっと大きな目標を達成することは到底不可能です。



野球部の活動は、あくまでも一例ですが、失敗から学び、理由や原因を考え、次に何をするかということは、きっと、多くの人が3年生の先輩方の姿を見て、学んでいるのではないのでしょうか。部活動は、自分たちの足りないものを見つけ、学年を越えて仲間と協力し、行動するという大切な場です。もう一つ、部活動の目的は、人として成長することだと思います。次は僕達2年生が、生きていく上で大切なことを伝えていかなければいけません。先輩方が繋いでくれた伝統のバトンを後輩に引き継いでいく務めがあるのです。僕達2年生の責任は大きいのです。

中学校生活も半分が過ぎました。年が明け4月を迎えるとついに最高学年になります。3年生は中学校の顔といっても過言ではありません。残りの期間、少しでも先輩方の姿から学び、青山中学校の生徒として胸を張れるように頑張っていきましょう。40年の歴史ある青山中学校の生徒として、自分の言動の一つ一つに責任をもって生活をしましょう。

## 2学期を振り返って

## 3年代表 鈴木 結奈

学期の中で一番期間が長い2学期は、今日で終わります。皆さんにとって、どんな2学期だったのでしょうか。私は、テストや行事などが次々にあったことで、あっという間に2学期が過ぎていったような気がしています。

振り返ってみると、まず夏にほとんどの3年生が部活動を引退し、本格的に自分の進路に向けて進んでいく時期になりました。9月には実力テストがあり、私達が受験生であることを再確認しました。

10月には、2学期最大の行事である青山祭がありました。学級展示の準備では、グループごとに役割分担をして、一生懸命制作する姿が多く見られました。また、当日の朝には早く登校して仕上げをしている人もおり、去年以上に「良いものを作るんだ」という学級展示に対する思いを感じました。2日目のオープニング劇では、前期3年学年運営委員会が主体となって、あらすじから演出道具まで自分たちで作りました。本番前は、楽しんでもらえるかどうかとても不安でしたが、劇が始まった直後から舞台裏まで笑い声が聞こえてきて、ホッとしたのを覚えています。そして、劇が終わったときの皆さんの拍手によって込み上げてきた達成感と高揚感は、今でも忘れられません。私たちは青山祭という行事を通して、仲間との絆を深めたり、団結力を高めたりすることが出来たと思います。

その後の11月の期末テストでは、いつもより早く登校して勉強したり、友達と問題を出し合ったりするなど、私達の進路を左右するテストであることを自覚し、勉強に励む人が多くいました。また11月下旬から、朝の学年タイムを学習タイムとし、学年全体で受験に向けて頑張ってきました。

明日からの冬休みでは、これらのことを生かして、一人一人が受験生という自覚をもち、もっともっと勉強に励めるようにしていきたいです。

3年生の皆さん、時間は有限ですが、受験までに与えられた時間は皆同じです。時間を無駄にせず、自分達の目標に向かって進んでいきましょう。

